罪

どのように神と人との正しい交わりを回復出来るかという喜ばしい知らせを理解する前に、まずどのようにこの関係が破壊されてしまったかを知る必要があります。
聖書は次のように言っています。

> **「すべての人は、罪を犯したので、神の栄光を受けることができない。」** **(ローマ人への手紙3章23節)**

> **「罪過の中に死んでいた私たちを.....」** **(エペソ人への手紙2章5節)**

神は神聖であり、人は罪深い(霊的不浄)存在です。ちょうど私たちは、死んで腐って行く、何とも言えない悪臭のする動物の前にいられないのと同じように、神聖なる神は霊的に死んで腐っている私たちの前に立つ事ができません。人は自分の罪によってまったく死んでいるのです。

2. キリストとの交わりを確かにするためとか霊的な成長を促すために、決して神秘的な感覚に頼ったり、なにか自分の心にささやく不思議な声に従ったりしないで下さい。感覚に頼る方法は、霊的な真理に達するには、数学や地理などの科学真理を追求する方法よりも劣っています。ちょうど霧の日に地図などに頼らないで、自分の感覚だけで、何百キロも知らない奥地の道を運転し続けられますか。もちろんこんなむちゃな運転はできないでしょう。残念ながら、多くのクリスチャンはこのような生活をしているのです。

3. 霊的な真理に成長するのに、神はすでに私たちに真理の源である聖書を下さいました。この聖書を毎日読んでみて下さい。まず「ガラテヤ人の手紙」から読むのをお勧めします。これは使徒パウロが福音の弁明と恵みの原理を明らかにするために書きました。一日に一章、全部で六章のこの書簡を五回読んで下さい。およそ一ヵ月で完了するでしょう。次にこの書簡を全部通して一日一回、一月間読んでみて下さい。そうすれば信仰原理の基本と、その大切な教義を学ぶことができます。この教えは健全なクリスチャン成長に欠くことのできないものです。

感覚に頼ることはもしかしたら悪魔サタンのささやきかもしれません。信仰を神の言葉によって育てましょう。

> **「信仰は聞くことによるのであり、聞くことはキリストの言葉から来るのであります。」** **(ローマ人10章17節)**

4. 福音を正しく理解しその教えに根ざしたなら、次によい教会との交わりをお勧めします。よい教会を捜す基準は、その教会の牧師に、「どうしたら天国に行かれるのでしょうか」と質問して下さい。もし牧師が、「それは清い生活をすることだよ」とか、「十戒の教えに忠実であること」とか、「洗礼を受けること」とか、「罪の告白をすること」とか、「教会の会員になること」とかその他とんでもない答をしたら、他の教会を捜して下さい。もし牧師が福音を知らないとしたら、しかもクリスチャン信仰の基本を知らないとしたら、結局キリスト教の一番大切な真理を知っていないのです。天国に行く方法を知らない牧師の教会にどうして行く必要があるのでしょうか。正しく教える教会を捜してみて下さい。